

市民の手による、市民と地域のための大学

宇治市民大学

会場 宇治市生涯学習センター



令和六年度後期「歴史コース」

テーマ「先史時代〜古墳時代②」

◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》
で使えます
九月〜十一月の講座日に販売

◆定員 先着 二百名

◆申込み 講座日、会場で受付

致します 事前申込み不要

◆問合せ

TEL 080-1526-6042

宇治市民大学事務局 丸山

◆注意

生涯学習センター専用の駐車場は
ありません

第1講 9月14日(土) 午前10時〜11時半

縄文時代晩期集落の様相

〜上里遺跡の発掘調査事例から〜

京都市埋蔵文化財研究所管理課長

近藤 奈央さん

第2講 10月19日(土) 午前10時〜11時半

椿井大塚山古墳と三角縁神獣鏡

同志社女子大学非常勤講師

なかしま まさし
中島 正さん

第3講 11月16日(土) 午前10時〜11時半

継体天皇と今城塚古墳

〜古代木津川・淀川水運の意義〜

高槻市文化財アドバイザー

元今城塚古代歴史館館長 森田 克行さん

第4講 12月7日(土) 午前10時〜11時半

地名が伝える無文字時代の日本語

奈良大学名誉教授 木村 紀子さん

第5講 2月1日(土) 午前10時〜11時半

先史・古代における倭の祭祀と信仰

〜縄文から古代へ〜

奈良大学文学部教授 小林 青樹さん

主催 宇治市民大学運営スタッフ会

共催 宇治市生涯学習センター

「古墳時代」
高く土盛りした古代の墳墓。日本では三世紀〜七世紀に当時の豪族や有力者が盛んに造営した。その形状により円墳・方墳・前方後円墳・前方後方墳・上円下方墳・八角墳などがある。

「古墳時代」
北海道・沖繩を除く日本列島で、壮大な古墳が造られた時代。弥生時代に次いで、三世紀後半から七世紀に到る。ただし、土盛りした墓は、弥生時代に始まり、古墳時代以降も存続。畿内を中心として文化が発達した時期で、大和政権の成立・発展と密接な関係にある。

『広辞苑(第七版)』

宇治市民大学 令和6年度後期講座

講師からのひとこと

9/14 「縄文時代晩期集落の様相～上里遺跡の発掘調査事例から～」 近藤 奈央さん

京都市西京区に所在する上里遺跡で、2001年から2009年に道路建設に先立って発掘調査を行ったところ、縄文時代晩期前半の住居跡や墓などが見つかり、自然形成の流路状遺構周辺に営まれた集落跡であることが分かりました。出土した土器や石製品からは物作りを行っており、広い範囲での交流がうかがえることから、拠点集落の可能性が考えられています。今回は、住居と墓との位置関係に注目し、縄文人が生と死をどのように考えていたのかを探っていきたいと思います。

10/19 「椿井大塚山古墳と三角縁神獣鏡」 中島 正さん

昭和28年(1953)、墳丘を東西に分断する現在のJR奈良線後円部斜面が崩落し、露出した竪穴式石室から40面近い三角縁神獣鏡を中心とした銅鏡が出土しました。これが、椿井大塚山古墳を一躍、日本考古学史上の大発見に導いた最初の事件です。その後70年を経過した現在でもなお、日本列島における「定型化した前方後円墳」の出現と「三角縁神獣鏡副葬」の意義は、初期ヤマト政権と古墳時代の成立を考える上での重要な出発点なのです。椿井大塚山古墳の重要性は深まるばかりです。

11/16 「継体天皇と今城塚古墳～古代木津川・淀川水運の意義～」 森田 克行さん

倭王権のかたちは、基本的に王宮が営まれる大和(奈良盆地)を奥座敷とし、淀川河口部に設けられた物流、外交、軍事の拠点となる住吉津(難波津)を表玄関として成立している。それゆえにふたつの拠点を繋ぐ木津川、淀川筋の整備と安定は極めて重要になる。継体大王はその仕上げとして流域の楠葉、筒城、弟国と、順次、王宮を移しつつ、陣頭指揮にあたった。講座では史料と水運関係の考古資料を駆使し、倭王権の戦略をあとづける。

12/7 「地名が伝える無文字社会の日本語」 木村 紀子さん

初期文献(いわゆる記紀万葉)に伝わる8世紀の日本語よりも古い日本語のカケラは、現在も私たちが口にしていて地名の中に生きています。無文字時代の日本語の姿を探る手がかりについて、考えてみましょう。

参考文献 木村紀子著『地名の原景——列島にひびく原始の声』(平凡社新書)920円
前もって御覧頂いていると、より広い原始日本語の世界に展望が開けるでしょう。

2/1 「先史・古代における倭の祭祀と信仰～縄文から古代へ～」 小林 青樹さん

今回の講演では先史・古代の倭人の祭祀について、どのように形成され変化していったのかみていきます。

倭人の祭祀の源流は、縄文文化から続く我が国固有の祭祀が根底にあり、弥生時代になると大陸から北方の遊牧民系に起源する祭祀が韓半島を経由して流入し、そして後に中国戦国時代の中原系の祭祀が流入しました。こうした倭人の祭祀の系譜からわかるいくつかのテーマについて、わかりやすく解説したいと思います。